

平成 25 年度 新入社員の意識と就職活動状況アンケート調査 報告書

対象：平成 25 年度新入社員研修会（百五経済研究所主催）の参加者
（主に三重県・愛知県に本社を置く企業の新入社員）

（調査結果のまとめ）

◆就職活動状況・就職観に関する調査

●調査を実施した背景

企業の採用活動や人材育成に活用いただくため、また、学生の就職活動に活用いただくため、弊社が毎年継続して開催している新入社員研修会参加者を対象に、①学生の就職活動状況や②若者の就職観などについて調査を行い、これらの年ごとの変化を把握した。

●主な調査結果

＜就職活動状況＞

・1人あたりの“平均訪問企業数”は、**大学卒**では**12.9社**と前年より**4.5社**減少した。

＜就職先を選んだ理由＞

・就職先を選んだ理由は、例年と同様、「**仕事内容（53.3%）**」、「**自宅通勤できる（38.8%）**」の回答割合が高い。

＜就職活動を振り返って＞

・就職活動に「**満足している**」の回答割合は**57.3%**、前年より**2.6ポイント**上昇した。上昇は**2年連続**となる。

＜入社して思うこと＞

・入社した企業に期待することは、「**コミュニケーションのよい職場（58.1%）**」、「**温かい雰囲気職場づくり（57.0%）**」、「**やりがいのある仕事（46.0%）**」の回答割合が高い。**女性の方が**、「**コミュニケーションのよい職場（65.3%）**」、「**温かい雰囲気職場づくり（63.1%）**」が高い。
・就職して不安なことは、「**業務の知識や技術の修得（67.8%）**」、「**上司や同僚との人間関係（67.0%）**」の回答割合が高い。「**規則的な生活**」「**情報機器（パソコン等）の使い方**」は近年低下気味であったが、上昇に転じている。

＜入社後のスタイル＞

・今の企業で「**定年まで働きたい（33.6%）**」が最も高い。**2年連続**上昇し、平成17年度の調査開始以来、最も高くなった。
・仕事とプライベートのバランスは、例年と同様、「**両方を適度にこなす（80.2%）**」が最も高い。「**とにかく仕事優先で頑張る（15.9%）**」は**5年ぶり**に低下に転じている。

＜人生で大切だと思うもの＞

・人生で大切なものは「**家庭（70.3%）**」が最も高い。「**お金（46.7%）**」が上昇し2位になった。

◆就職活動における男女による視点の違いに関する調査（今年度の調査で新しく設定した設問）

●調査を実施した背景

就職活動の会社訪問時等で会社をチェックする際の、男女による視点の違いを把握するため。

●主な調査結果

・**女性の方が**、「**同性の先輩社員や上司の有無**」、「**会社の雰囲気など**」を“**気にした**”とする回答割合が高く、「**出産して働き続ける社員の有無**」は、**約7割（73.1%）**が“**気にした**”としている。

◆家庭の夫婦間の役割分担に対する意識に関する調査（今年度の調査で新しく設定した設問）

●調査を実施した背景

女性の社会進出のために必要とされる“家庭での夫婦間の役割分担”に対する意識を把握した。

●主な調査結果

・「**男は仕事、女は家庭**」という考え方には、**男女間で大きな違いはみられず**、“**同感する**”、“**しない**”の回答が分かれた。**家事等の分担**は、**男性の方が**、「**常に分担すべき**」の割合が高い。

【お問い合わせ先】

株式会社 百五経済研究所 担当：川北、森里 TEL 059-228-9105 FAX 059-228-9380

I アンケート調査の概要

1. 調査対象

弊社主催の新入社員研修会に参加した平成 25 年度の新入社員
※174 社（主に三重県・愛知県に本社を置く企業）の新入社員
参加者数 564 人

2. 調査の期間

平成 25 年 4 月 2 日～4 月 5 日

3. 調査方法

「新入社員研修会」会場で調査票を配布・回収（無記名）
※550 人分の回答を回収（回収率 97.5%）

4. 主な調査項目

◆就職活動状況・就職観に関する調査

1. 就職活動状況	3
1-1. 訪問企業数と内定した企業数	3
2. 企業を選んだ基準	6
2-1. 就職先に決定した理由	6
3. 就職活動を振り返って	8
3-1. 満足しているかどうか	8
3-2. 満足・不満足の理由	9
4. 入社して思うこと	11
4-1. 企業に期待すること	11
4-2. 就職して不安なこと	13
5. 入社後のスタイル	14
5-1. 今の企業でいつまで働きたいか	14
5-2. 仕事とプライベートのバランス	16
6. 人生で大切だと思うもの	17

◆就職活動における男女による視点の違いに関する調査

7. 就職活動の会社訪問時等で気にしたこと	19
7-1. 同性の先輩社員の有無	19
7-2. 活躍している同性の社員の有無	19
7-3. 同性の上司の有無	19
7-4. 会社（職場）の雰囲気	20
7-5. 残業時間の量	20
7-6. 休みの取りやすさ	20
7-7. 出産して働き続ける社員の有無	20

◆家庭の夫婦間の役割分担に対する意識に関する調査

8. 夫婦間の役割に対する考え	21
8-1. 結婚に対する意識	21
8-2. 「男は仕事、女は家庭」という考え方についての意見	21
8-3. パートナーに望むこと	22
8-4. 夫婦間の家事・育児の分担に対する意識	22

※本書での表記について

・「25 年度」は「平成 25 年度の新入社員を対象にした調査結果」を表し、「24 年度中の就職活動」の内容を尋ねた結果を集計している。同様に各年度は以下の通り。

「19 年度」…平成 18 年度中の就職活動 「20 年度」…平成 19 年度中の就職活動 「21 年度」…平成 20 年度中の就職活動
「22 年度」…平成 21 年度中の就職活動 「23 年度」…平成 22 年度中の就職活動 「24 年度」…平成 23 年度中の就職活動

・図表中の n は設問ごとの有効回答数を表す（クロス集計の場合は、その集計に使用した有効サンプルであり、単純集計のサンプル数と異なる場合がある）

・数値（%）は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、集計結果の割合合計が 100%にならないことがある。

・複数回答の数値（%）は、選択肢ごとの回答数を有効サンプル数（n）で割った数値であるため、全ての割合を合計すると、通常は 100 を超える。

5. 有効回答の属性

①性別

	回答数 (人)	構成比 (%)
男性	315	57.3
女性	229	41.6
不明 (無回答)	6	1.1
計	550	100.0

②年齢

	回答数 (人)	構成比 (%)
19 歳以下	195	35.5
20～21 歳	91	16.5
22～24 歳	206	37.5
25 歳以上	57	10.4
不明 (無回答)	1	0.2
計	550	100.0

③最終学歴

	回答数 (人)	構成比 (%)
高校卒	222	40.4
短大卒	34	6.2
専門学校 (高専卒を含む) 卒	71	12.9
大学卒	196	35.6
大学院卒	16	2.9
その他	6	1.1
不明 (無回答)	5	0.9
計	550	100.0

※「その他」は回答数が少ないため、分析は省略している。

④就職先企業の業種

	回答数 (人)	構成比 (%)
製造業	172	31.3
建設業	45	8.2
卸・小売業	72	13.1
運輸業	12	2.2
飲食・宿泊業	16	2.9
サービス業	154	28.0
医療、介護・福祉	33	6.0
公務員	0	0.0
その他	25	4.5
不明 (無回答)	21	3.8
計	550	100.0

Ⅱ アンケート調査の分析

◆就職活動状況・就職観に関する調査

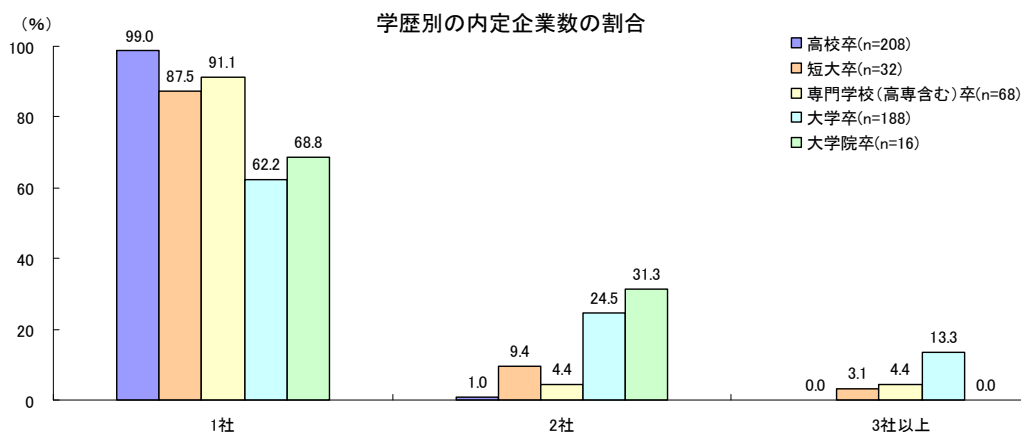
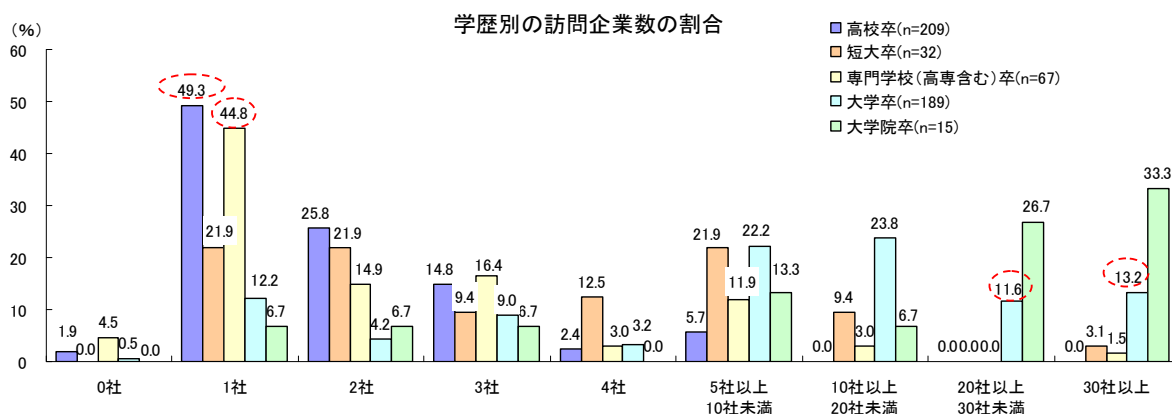
1. 就職活動状況

1-1. 訪問企業数と内定した企業数

就職活動で“訪問した企業の数（訪問企業数）”と“内定した企業の数（内定企業数）”を尋ねた。

訪問した企業数は、高校卒は約半数が「1社」である（49.3%）。大学卒は、「30社以上」が13.2%、「20社以上30社未満」が11.6%となっており、20社以上訪問した回答割合が2割超となっている（24.8%）。専門学校（高専を含む）卒は、「1社」が最も多い（44.8%）。

内定した企業数は、どの学歴でも「1社」が最も多い。



訪問した企業の数と、内定した企業数を平均（設問の有効サンプルの平均）し、学歴別に1人あたりの“平均訪問企業数”と“平均内定企業数”を算出した。

“平均訪問企業数”は、平成24年度調査と比較すると、大学卒、短大卒、専門学校（高専含む）卒で減少となっている。うち、大学卒、短大卒は、2年連続で減少し、専門学校（高専含む）は、3年連続で減少となっている。

“平均内定企業数”は、24年度と同水準で、大きな変化はみられない。

【学歴別の平均訪問企業数】

	平均訪問企業数（社）	平成24年度調査との差（社）
高校卒（n=209）	1.9	0.0
短大卒（n=32）	5.8	△1.0
専門学校（高専含む）卒（n=67）	3.4	△0.3
大学卒（n=189）	12.9	△4.5
大学院卒（n=15）	20.7	8.4

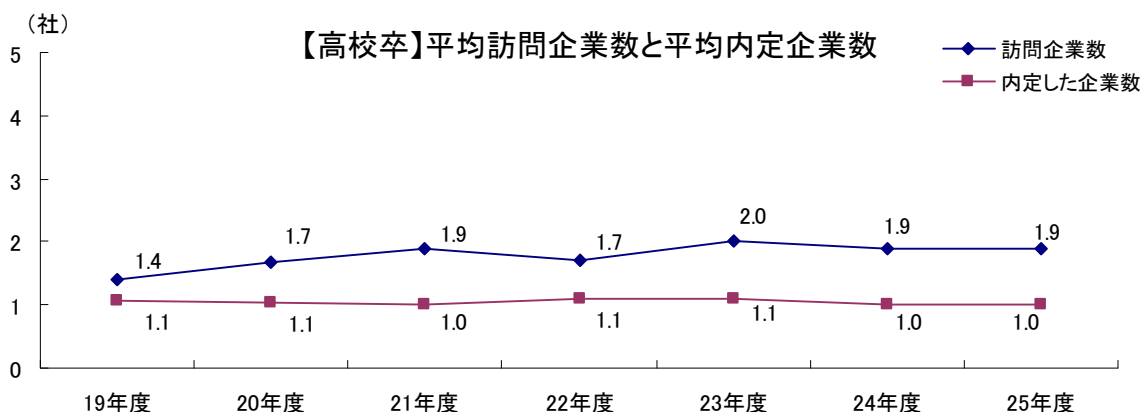
※大学院卒、短大卒は、有効サンプル数が少ない。

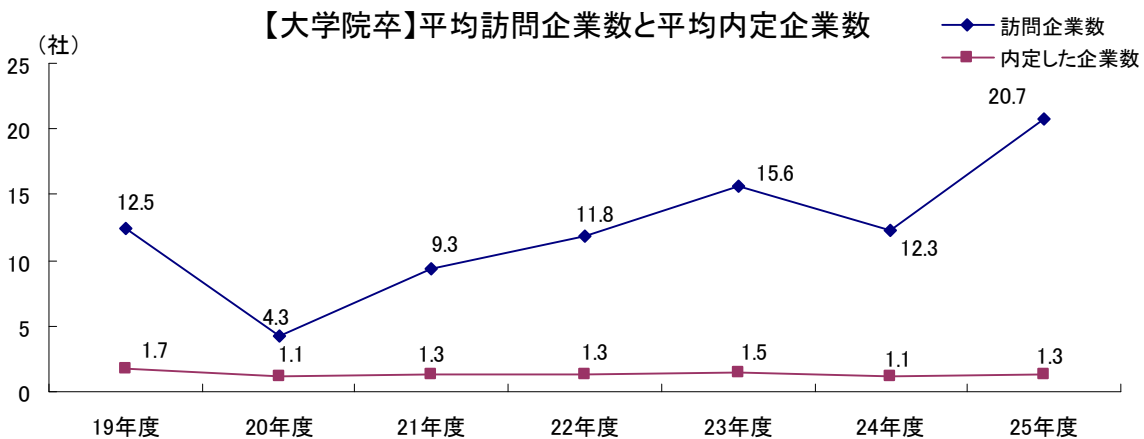
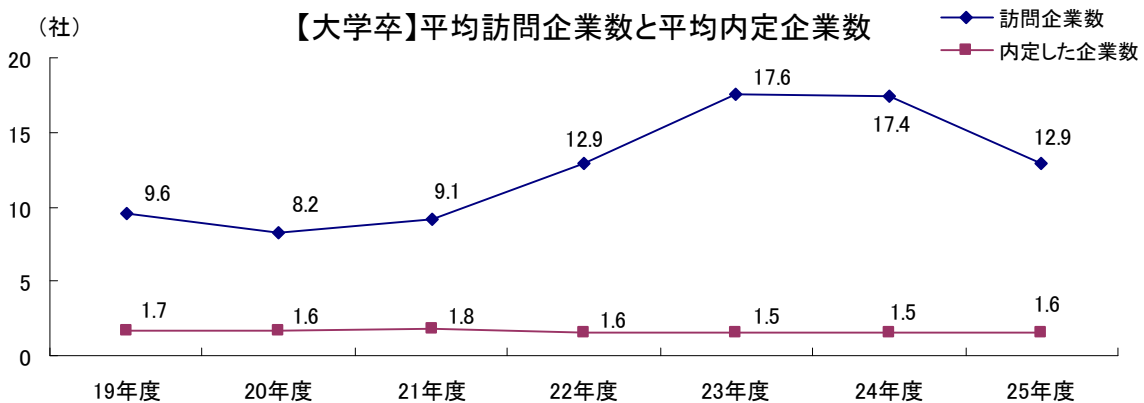
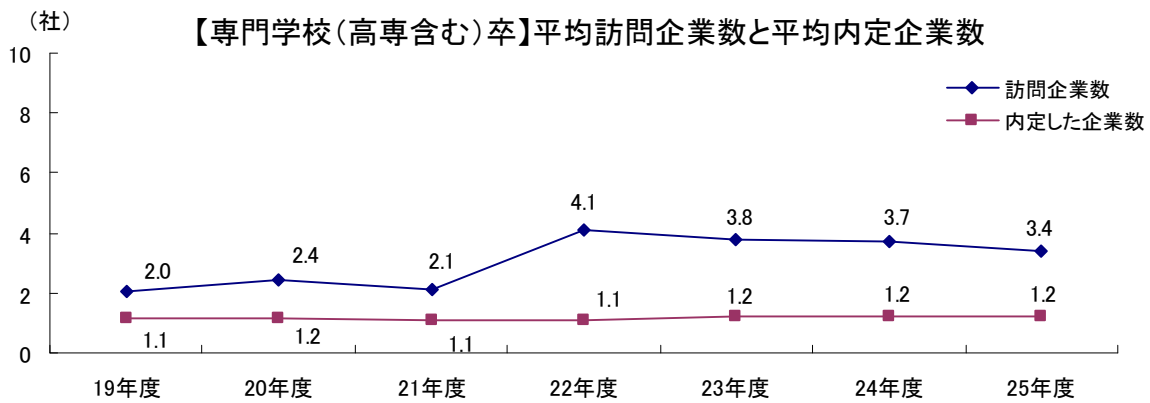
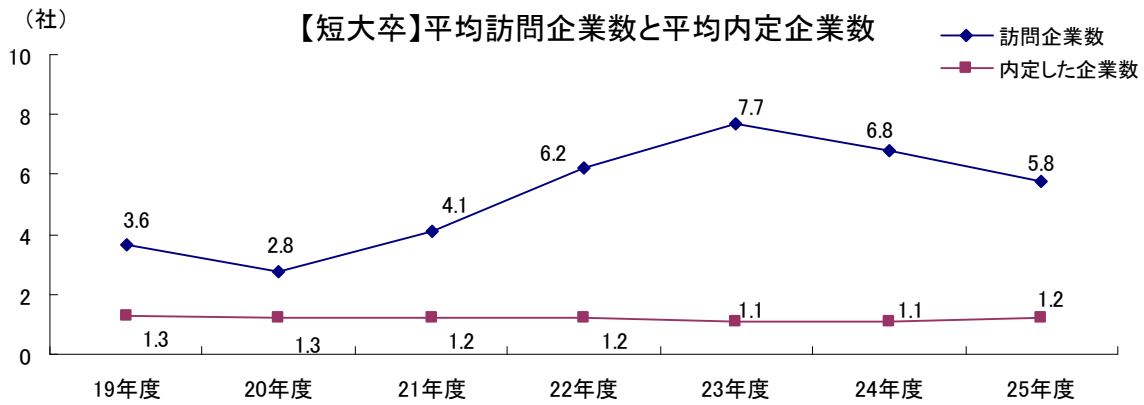
【学歴別の平均内定企業数】

	平均内定企業数（社）	平成24年度調査との差（社）
高校卒（n=208）	1.0	0.0
短大卒（n=32）	1.2	0.1
専門学校（高専含む）卒（n=68）	1.2	0.0
大学卒（n=188）	1.6	0.1
大学院卒（n=16）	1.3	0.2

※大学院卒、短大卒は、有効サンプル数が少ない。

【学歴別の平均訪問企業数と平均内定企業数の推移】

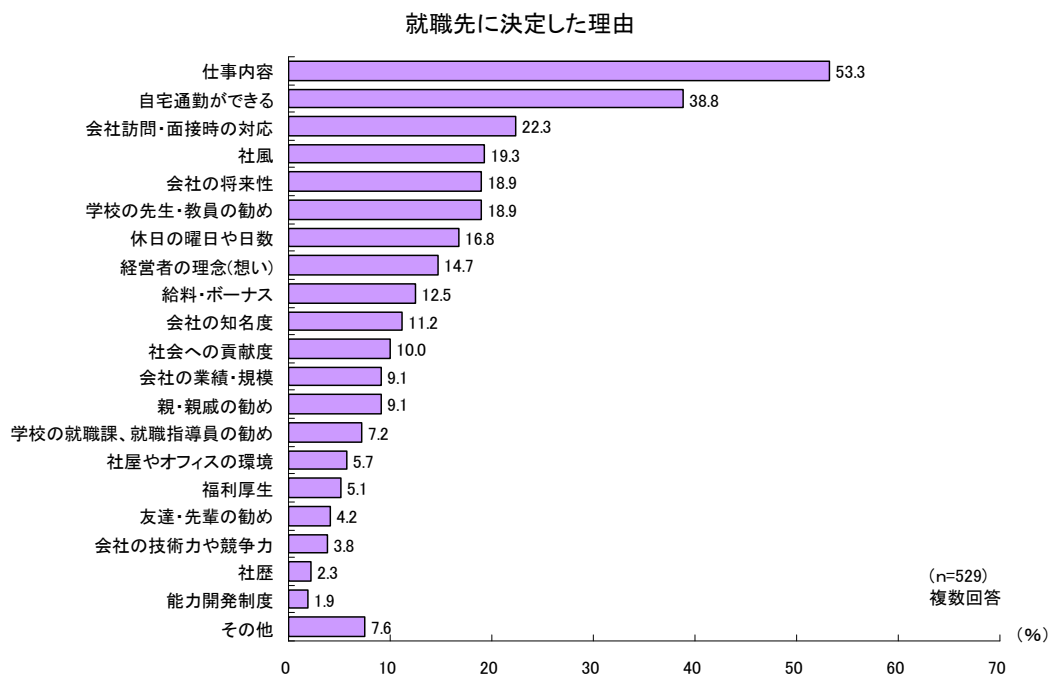




2. 企業を選んだ基準

2-1. 就職先に決定した理由（複数回答）

「就職先に決定した理由」については「仕事内容」が 53.3%と最も高く、次いで「自宅から通勤ができる」が続く。



男女別でみると、男女ともに「仕事内容」の回答割合が最も高い。

男性の方が「会社の将来性 (24.6%)」「会社の知名度 (14.4%)」等の回答割合が高く、女性の方が「自宅通勤ができる (47.0%)」「会社訪問・面接時の対応 (27.4%)」等の回答割合が高い。

【「就職先に決定した理由」 男女別回答割合】 (%)

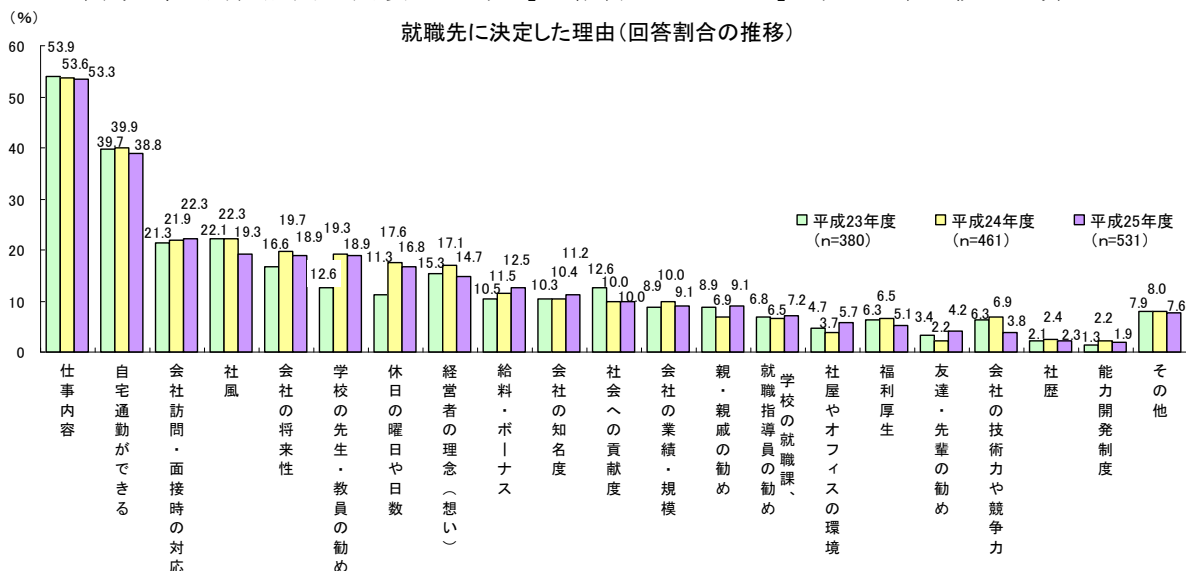
		会社の知名度	会社の将来性	会社の業績・規模	会社の技術力や競争力	社歴	仕事内容	給料・ボーナス
男女別全体 (n=524)		11.1	18.9	9.0	3.6	2.3	53.2	12.2
男女別	男性 (n=305)	14.4	24.6	10.5	4.9	2.3	48.5	12.1
	女性 (n=219)	6.4	11.0	6.8	1.8	2.3	59.8	12.3
		経営者の理念(想い)	社会への貢献度	社風	能力開発制度	自宅通勤ができる	休日の曜日や日数	学校の先生・教員の勧め
男女別全体 (n=524)		14.7	9.7	19.5	1.5	38.9	16.6	19.1
男女別	男性 (n=305)	13.4	9.8	16.7	2.0	33.1	15.4	16.7
	女性 (n=219)	16.4	9.6	23.3	0.9	47.0	18.3	22.4
		学校の就職課、就職指導員の勧め	親・親戚の勧め	友達・先輩の勧め	社屋やオフィスの環境	会社訪問・面接時の対応	福利厚生	その他
男女別全体 (n=524)		7.3	9.0	4.2	5.7	22.3	5.0	7.6
男女別	男性 (n=305)	8.2	7.5	3.9	3.6	18.7	4.9	7.5
	女性 (n=219)	5.9	11.0	4.6	8.7	27.4	5.0	7.8

学歴別でみると、すべてで「仕事内容」の回答割合が最も高い。
 高校卒は、「学校の先生・教員の勧め（30.6%）」の回答割合が、他の学歴より高い。
 短大卒は、「会社の知名度（24.2%）」「会社の業績・規模（21.2%）」が他の学歴より高い。

【「就職先に決定した理由」 学歴別回答割合】 (%)

		会社の知名度	会社の将来性	会社の業績・規模	会社の技術力や競争力	社歴	仕事内容	給料・ボーナス
学歴別全体 (n=524)		10.9	18.7	9.2	3.6	2.1	53.2	12.6
学歴別	高校卒 (n=209)	7.2	15.8	5.7	4.3	1.0	50.2	13.4
	短大卒 (n=33)	24.2	24.2	21.2	3.0	3.0	66.7	18.2
	専門学校(高専含む)卒 (n=69)	13.0	20.3	7.2	4.3	2.9	47.8	13.0
	大学卒 (n=191)	13.1	21.5	12.0	2.6	3.1	56.5	11.5
	大学院卒 (n=16)	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	68.8	0.0
		経営者の理念(想い)	社会への貢献度	社風	能力開発制度	自宅通勤ができる	休日の曜日や日数	学校の先生・教員の勧め
学歴別全体 (n=524)		14.7	9.7	19.3	1.9	39.1	16.8	18.7
学歴別	高校卒 (n=209)	9.1	6.2	16.3	1.0	39.2	17.7	30.6
	短大卒 (n=33)	15.2	12.1	24.2	0.0	39.4	21.2	12.1
	専門学校(高専含む)卒 (n=69)	8.7	1.4	15.9	4.3	33.3	10.1	24.6
	大学卒 (n=191)	22.0	16.2	23.6	2.1	42.4	18.3	6.3
	大学院卒 (n=16)	31.3	12.5	18.8	6.3	18.8	6.3	0.0
		学校の就職課、就職指導員の勧め	親・親戚の勧め	友達・先輩の勧め	社屋やオフィスの環境	会社訪問・面接時の対応	福利厚生	その他
学歴別全体 (n=524)		7.3	9.0	4.2	5.7	22.5	5.2	7.4
学歴別	高校卒 (n=209)	6.2	9.6	5.3	5.7	17.7	2.9	6.2
	短大卒 (n=33)	15.2	12.1	0.0	9.1	33.3	9.1	9.1
	専門学校(高専含む)卒 (n=69)	13.0	5.8	4.3	4.3	23.2	8.7	7.2
	大学卒 (n=191)	5.8	9.4	2.6	6.3	26.2	5.8	6.8
	大学院卒 (n=16)	0.0	0.0	6.3	0.0	25.0	0.0	18.8

24年度と比較して、回答割合に大きな変化はみられない。
 過去3年間で、「会社訪問・面接時の対応」「給料・ボーナス」等が2年連続で上昇している。

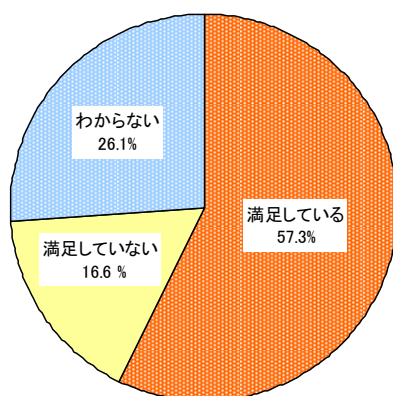


3. 就職活動を振り返って

3-1. 満足しているかどうか

“就職活動に満足しているか”については、「満足している（57.3%）」が5割以上を占める。

就職活動に満足しているか



(n=529)

男女別では、回答割合に大きな差が見られなかった。

【「就職活動の満足度」 男女別回答割合】 (%)

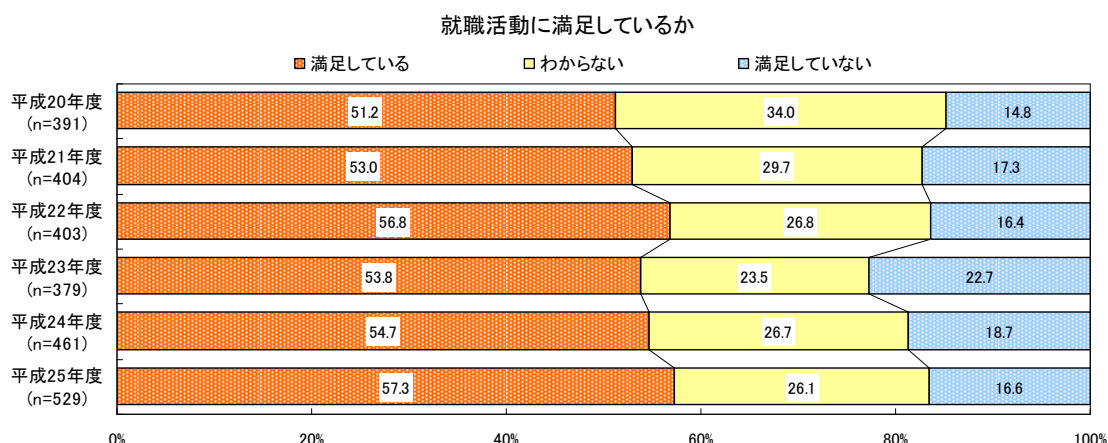
		満足している	満足していない	わからない
男女別全体 (n=523)		57.2	16.8	26.0
男女別	男性 (n=304)	55.6	18.4	26.0
	女性 (n=219)	59.4	14.6	26.0

学歴別でみると、短大卒、専門学校（高専含む）は「満足している」の回答割合が他の学歴と比べて高い。大学卒、大学院卒は、「満足していない」の回答割合が他の学歴と比べて高い。

【「就職活動の満足度」 学歴別回答割合】 (%)

		満足している	満足していない	わからない
学歴別全体 (n=524)		57.4	16.4	26.1
学歴別	高校卒 (n=208)	60.6	9.6	29.8
	短大卒 (n=33)	72.7	12.1	15.2
	専門学校 (高専含む) (n=70)	68.6	8.6	22.9
	大学卒 (n=192)	50.0	26.6	23.4
	大学院卒 (n=16)	37.5	25.0	37.5

24年度調査と比較すると、「満足している」（前年比+2.6ポイント）の回答割合は上昇し、「満足していない」（前年比△2.1ポイント）の回答割合は低下している。



3-2. 満足・不満足の原因（自由記入回答）

※自由記入方式で回答を求めた結果から特徴あるものを、①満足している、②満足していない、③わからないの別に抜粋した（一部、編集を加えている）。

①「満足」の理由

【具体的な回答内容】

- ・第一志望の会社に入社できたから（専門学校卒）
- ・全ての会社に内定を頂いたから（大学卒）
- ・就職率が低いなか、就職先に採用していただいたことをありがたく思っているから（短大卒）
- ・会社に将来性があると思うから（高校卒）
- ・会社の理念と自分がしたい仕事と同じだったから（高校卒）
- ・社会貢献度の高い会社に入社できたから（大学卒）
- ・自分に可能性を感じてくれる会社に入定できたから（短大卒）
- ・職場の雰囲気が良いから（高校卒）
- ・会社の同期の方や先輩たちが優しく、話しやすく、とても良い環境だから（高校卒）
- ・会社を訪問した時に話がしやすかったから（高校卒）
- ・会社訪問の時に感じた職場の雰囲気と、入社後の印象に違いがなく、とても働きやすい会社に出会えたと思ったから（短大卒）
- ・一人ひとりがコミュニケーションを大切にしており、優しく仕事を教えてもらえているから（高校卒）
- ・先輩に一つ一つ丁寧に仕事を教えていただき、やり甲斐があるから（専門学校卒）
- ・自宅から通える範囲に就職ができ、会社の雰囲気も良かったから（専門学校卒）
- ・自分でいろいろな会社を見ることができ、自分に合った仕事を探せたから（高校卒）
- ・多くの職場を観ることができ、自分に合った職場を決めることができたから（高校卒）
- ・様々な業種を詳しく知り、検討することができたから（大学卒）
- ・学校の先生や親の協力のもと、たくさんの企業を調べることができたから（高校卒）
- ・訪問した会社は少ないが、様々な会社の社風や理念がわかったから（大学卒）
- ・たくさんの企業に出会い成長することができ、納得いく会社に就職できたから（大学卒）
- ・会社見学や聞きたいことをたくさん質問できたから（高校卒）
- ・内定を頂けるように、何度も練習したから（高校卒）
- ・短期間で全力を発揮して、できる限りのことをしたから（高校卒）
- ・失敗から学ぶことが多く、最終的には納得できる会社に就職できたから（短大卒）
- ・自分自身を見つめ成長することができたから（短大卒）
- ・落ち込むことも多かったが、学ぶことも多かったから（大学卒）

- ・先生が熱心になってくれたから（高校卒）
- ・正社員として働くことができるから（大学卒）

②「不満足」の理由

【具体的な回答内容】

- ・第一希望に落ちたから（大学卒）
- ・もっと早い段階でより多くの企業を受けていればよかったと思うから（大学卒）
- ・就職活動が始める時期が他の人に比べ遅かったので、選択肢が狭くなったから（大学卒）
- ・4年生の4月から就職活動 시작했다。もっと早く始めるべきだったと思うから（大学卒）
- ・もう少し幅広い仕事に目を向けてみればよかったと思うから（高校卒）
- ・時間が足りず、会社について調べる時間が少なかったから（大学卒）
- ・早い段階から面接の練習や自己分析をしておけばよかったと思うから（大学卒）
- ・自分がやりたいことが何かわからないまま、就職活動を続けたから（大学卒）
- ・もっと面接対策に力を入れておけば、様々な企業で自分を積極的にアピールできたと思うから（大学卒）
- ・会社選びの時点で情報収集を怠っていたから（高校卒）
- ・企業先が遠かったから（高校卒）
- ・給料・ボーナスが少ないから（大学卒）

③「わからない」の理由

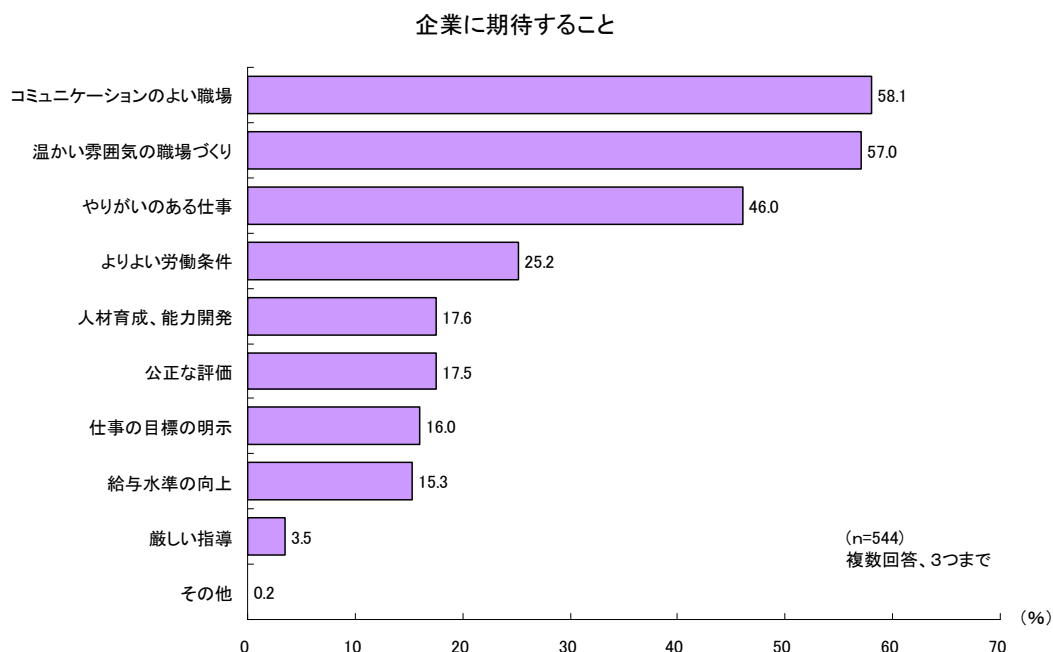
【具体的な回答内容】

- ・1社しか受けていないから（高校卒）
- ・訪問した会社の数が少なかった気がするから（大学卒）
- ・まだ入社して日が浅いので、自分が選んだ会社の良し悪しの判断ができないから（大学卒）
- ・入社して間もなく、会社の全体像がつかめていないから（高校卒）
- ・自分に合った仕事ができるのか不安だから（高校卒）
- ・働き始めたばかりでわからないから（大学卒）

4. 入社して思うこと

4-1. 企業に期待すること（複数回答、3つまで）

“入社した企業にどのようなことを期待するか”については、「コミュニケーションのよい職場」が58.1%と最も高く、「温かい雰囲気職場づくり」が57.0%、「やりがいのある仕事」が46.0%と続く。



男女別でみると、男性の方が、「給与水準の向上」の回答割合がやや高く、女性の方が、「コミュニケーションのよい職場（65.3%）」「温かい雰囲気職場づくり（63.1%）」等の回答割合がやや高くなっている。

【「企業に期待すること」 男女別回答割合】 (%)

		仕事の目標の明示	公正な評価	厳しい指導	コミュニケーションのよい職場	温かい雰囲気職場づくり	人材育成、能力開発	給与水準の向上
男女別全体 (n=538)		16.0	17.7	3.3	58.6	57.2	17.5	15.1
男女別	男性 (n=313)	19.5	18.8	4.2	53.7	53.0	17.6	18.5
	女性 (n=225)	11.1	16.0	2.2	65.3	63.1	17.3	10.2
		よりよい労働条件	やりがいのある仕事	その他				
男女別全体 (n=538)		24.9	45.9	0.2				
男女別	男性 (n=313)	24.3	44.1	0.3				
	女性 (n=225)	25.8	48.4	0.0				

学歴別でみると、短大卒、大学院卒を除いて、「コミュニケーションのよい職場」の回答割合が最も高い。

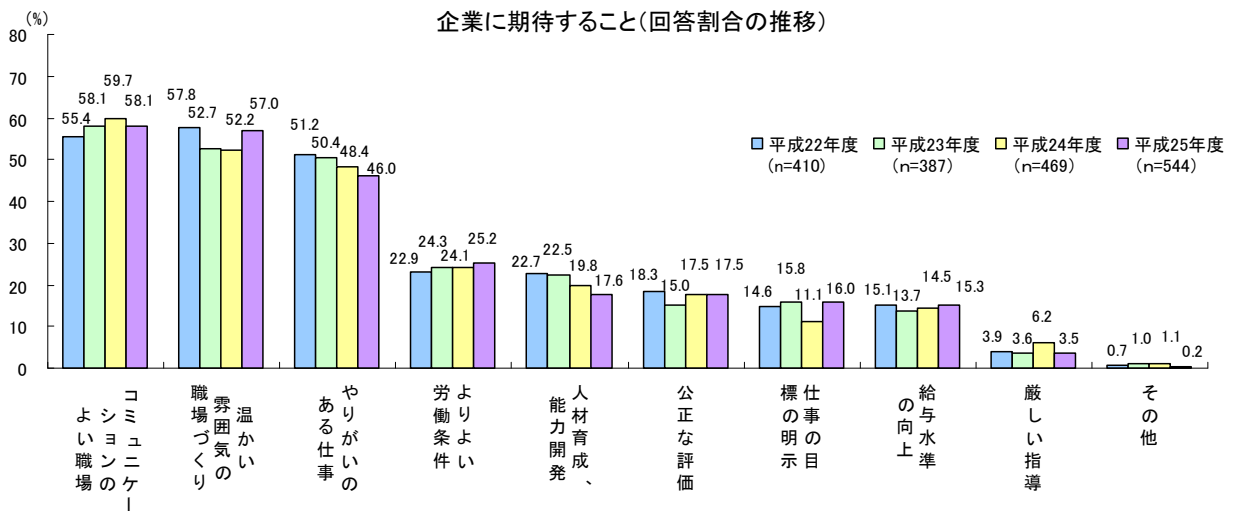
短大卒は、「温かい雰囲気職場づくり (67.6%)」「よりよい労働条件 (50.0%)」が、大学院は、「やりがいのある仕事 (56.3%)」「人材育成、能力開発 (50.0%)」「よりよい労働条件 (43.8%)」が他の学歴に比べて高い。

【「企業に期待すること」 学歴別回答割合】

(%)

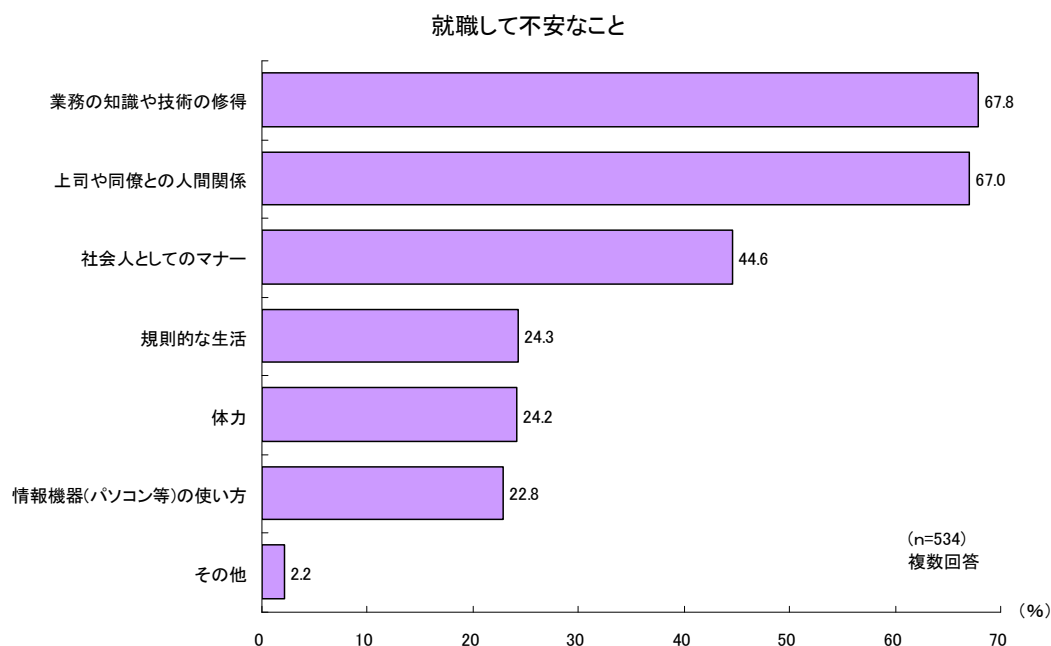
		仕事の目標の明示	公正な評価	厳しい指導	コミュニケーションのよい職場	温かい雰囲気職場づくり	人材育成、能力開発	給与水準の向上
学歴別全体 (n=539)		15.8	17.3	3.3	58.1	57.0	17.8	15.4
学歴別	高校卒 (n=216)	14.4	17.6	3.2	62.5	61.1	9.7	15.3
	短大卒 (n=34)	2.9	11.8	5.9	58.8	67.6	14.7	17.6
	専門学校(高専含む)卒 (n=71)	18.3	12.7	1.4	60.6	56.3	21.1	5.6
	大学卒 (n=196)	16.8	18.9	3.6	56.1	53.6	23.0	18.4
	大学院卒 (n=16)	25.0	18.8	6.3	25.0	31.3	50.0	6.3
		よりよい労働条件	やりがいのある仕事	その他				
学歴別全体 (n=539)		25.2	46.0	0.2				
学歴別	高校卒 (n=216)	17.6	45.8	0.0				
	短大卒 (n=34)	50.0	44.1	0.0				
	専門学校(高専含む)卒 (n=71)	26.8	52.1	0.0				
	大学卒 (n=196)	27.6	43.9	0.5				
	大学院卒 (n=16)	43.8	56.3	0.0				

過去3年間を比較してみると、「温かい雰囲気職場づくり」は上昇に転じている。一方で、「やりがいのある仕事」「人材育成、能力開発」は低下傾向にある。



4-2. 就職して不安なこと（複数回答）

“就職して不安に感じていること”については、「業務の知識や技術の修得」が67.8%と最も高く、次いで「上司や同僚との人間関係」が67.0%と続いており、いずれも6割超となっている。



男女別にみると、男性の方が、「規則的な生活（28.5%）」の回答割合が高く、女性の方が、「上司や同僚との人間関係（72.6%）」の回答割合がやや高くなっている。

【「就職して不安なこと」 男女別回答割合】 (%)

	上司や同僚との人間関係	業務の知識や技術の修得	情報機器(パソコン等)の使い方	社会人としてのマナー	規則的な生活	体力	その他
男女別全体 (n=528)	67.6	68.0	22.7	44.9	24.4	24.1	2.1
男女別							
男性 (n=305)	63.9	66.9	22.0	42.0	28.5	25.6	2.3
女性 (n=223)	72.6	69.5	23.8	48.9	18.8	22.0	1.8

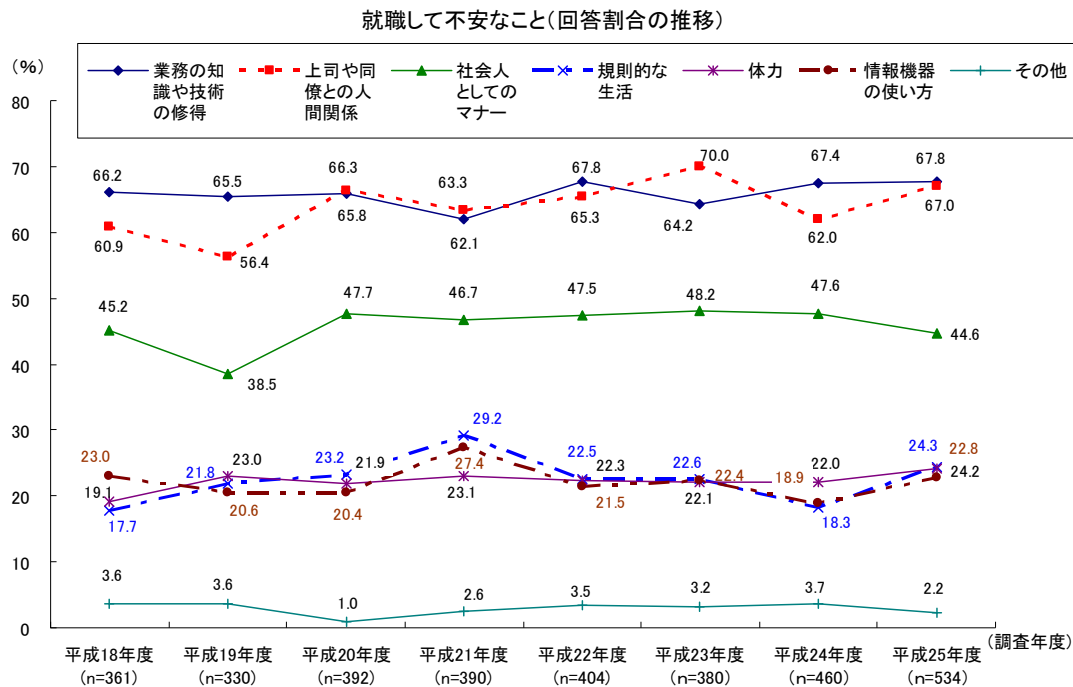
学歴別にみると、短大卒は、「社会人としてのマナー（57.6%）」の回答割合が他の学歴よりも高く、大学卒は、「情報機器（パソコン等）の使い方（29.9%）」の回答割合が他の学歴よりもやや高くなっている。

【「就職して不安なこと」 学歴別回答割合】 (%)

	上司や同僚との人間関係	業務の知識や技術の修得	情報機器(パソコン等)の使い方	社会人としてのマナー	規則的な生活	体力	その他
学歴別全体 (n=529)	66.9	67.7	23.1	44.2	24.4	24.4	2.3
学歴別							
高校卒 (n=211)	64.0	59.7	16.6	41.7	28.0	25.1	0.9
短大卒 (n=33)	72.7	72.7	27.3	57.6	21.2	21.2	3.0
専門学校(高専含む)卒 (n=69)	73.9	71.0	20.3	42.0	15.9	23.2	0.0
大学卒 (n=194)	68.0	74.7	29.9	47.4	24.2	23.7	3.1
大学院卒 (n=16)	56.3	62.5	12.5	25.0	25.0	25.0	12.5

「業務の知識や技術の修得（前年比+0.4ポイント）」は、2年連続トップとなった。「社会人としてのマナー（同△3.0ポイント）」は、2年連続低下している。

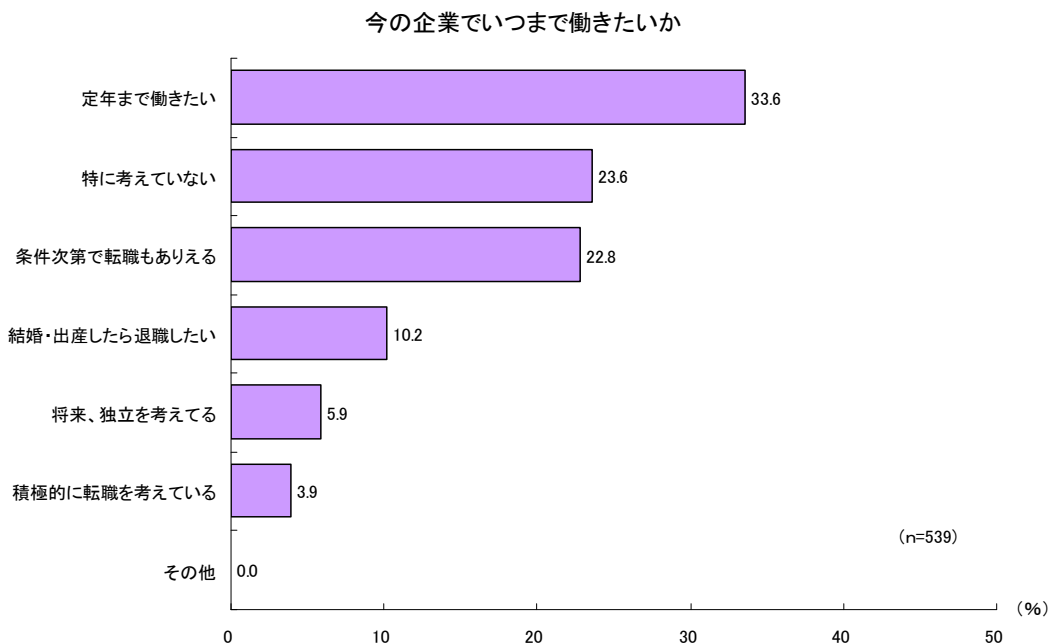
「規則的な生活（同+6.0ポイント）」「情報機器（パソコン等）の使い方（同+3.9ポイント）」は、近年低下傾向であったが、上昇に転じている。



5. 入社後のスタイル

5-1. 今の企業でいつまで働きたいか

“今の企業でいつまで働きたいか”については、「定年まで働きたい」が、33.6%と最も高く、次いで「特に考えていない（23.6%）」、「条件次第で転職もありえる（22.8%）」が続く。



男女別でみると、男性は「定年まで働きたい (40.4%)」の回答割合が最も高く、女性より 16.5 ポイント高い。一方、「条件次第で転職もありえる (26.6%)」の回答割合も女性より高い。

女性は「特に考えていない (26.6%)」の回答割合が最も高く、次いで、「結婚・出産したら退職したい (24.8%)」となっている。

【「今の企業でいつまで働きたいか」 男女別回答割合】 (%)

		定年まで働きたい	条件次第で転職もありえる	積極的に転職を考えている	将来、独立を考えている	結婚・出産したら退職したい	特に考えていない	その他
男女別全体 (n=534)		33.5	22.7	3.9	6.0	10.3	23.6	0.0
男女別	男性 (n=312)	40.4	26.6	3.5	8.0	0.0	21.5	0.0
	女性 (n=222)	23.9	17.1	4.5	3.2	24.8	26.6	0.0

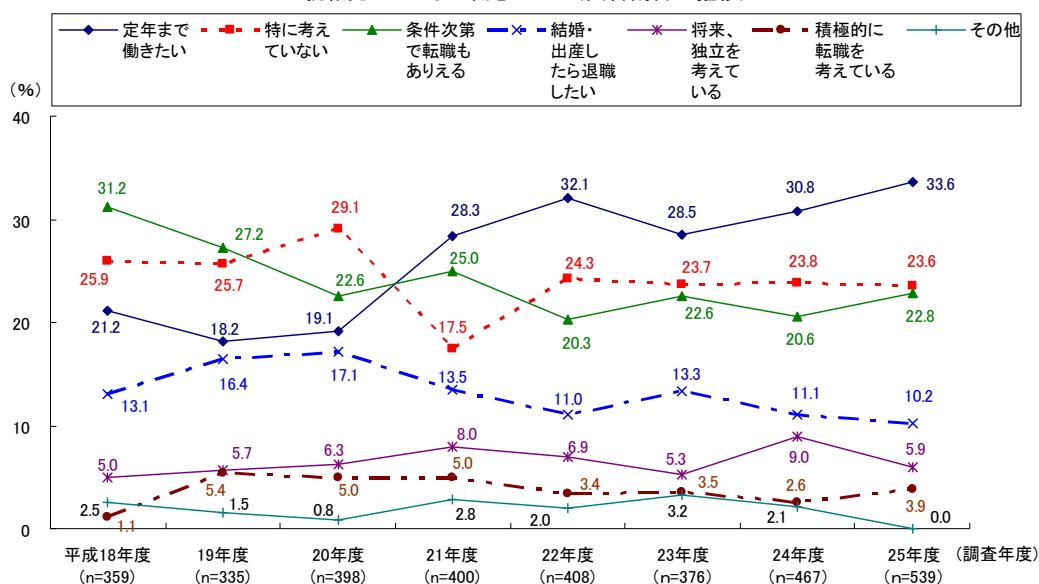
学歴別でみると、大学卒は、「条件次第で転職もありえる (29.2%)」の回答割合が、他の学歴より高く、大学院卒は、「積極的に転職を考えている (12.5%)」が他の学歴より高い。また、短大卒は、女性の割合が高いこともあり、他の学歴より「結婚・出産したら退職したい (27.3%)」の回答割合が高い。

【「今の企業でいつまで働きたいか」 学歴別回答割合】 (%)

		定年まで働きたい	条件次第で転職もありえる	積極的に転職を考えている	将来、独立を考えている	結婚・出産したら退職したい	特に考えていない	その他
学歴別全体 (n=534)		33.3	22.8	3.9	6.0	10.1	23.8	0.0
学歴別	高校卒 (n=214)	35.0	18.7	4.7	3.3	11.7	26.6	0.0
	短大卒 (n=33)	30.3	15.2	0.0	6.1	27.3	21.2	0.0
	専門学校 (高専含む) 卒 (n=70)	30.0	21.4	1.4	14.3	10.0	22.9	0.0
	大学卒 (n=195)	32.3	29.2	3.6	6.2	6.7	22.1	0.0
	大学院卒 (n=16)	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0

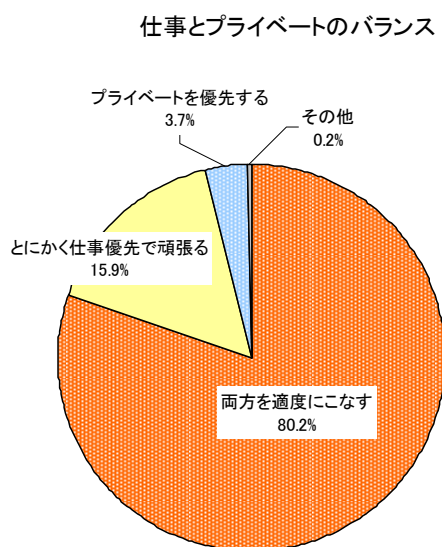
22 年度以降は、順位に変化はみられないが、24 年度と比較して、「定年まで働きたい (前年比+2.8 ポイント)」、「条件次第で転職もありえる (同+2.2 ポイント)」の回答割合が上昇している。「定年まで働きたい」は 2 年連続上昇し、平成 17 年度の調査開始以来、最も高くなった。

就職先でいつまで働きたいか (回答割合の推移)



5-2. 仕事とプライベートのバランス

“仕事とプライベートのバランスをどのように考えているか”については、「両方を適度にこなす（80.2%）」が約8割を占めている。



(n=541)

男女別では、男女ともに「両方を適度にこなす」の回答割合が最も高く、次いで「とにかく仕事優先で頑張る」が続く。男性の方が、「とにかく仕事優先で頑張る（19.6%）」の回答割合が高い。

【「仕事とプライベートのバランス」 男女別回答割合】 (%)

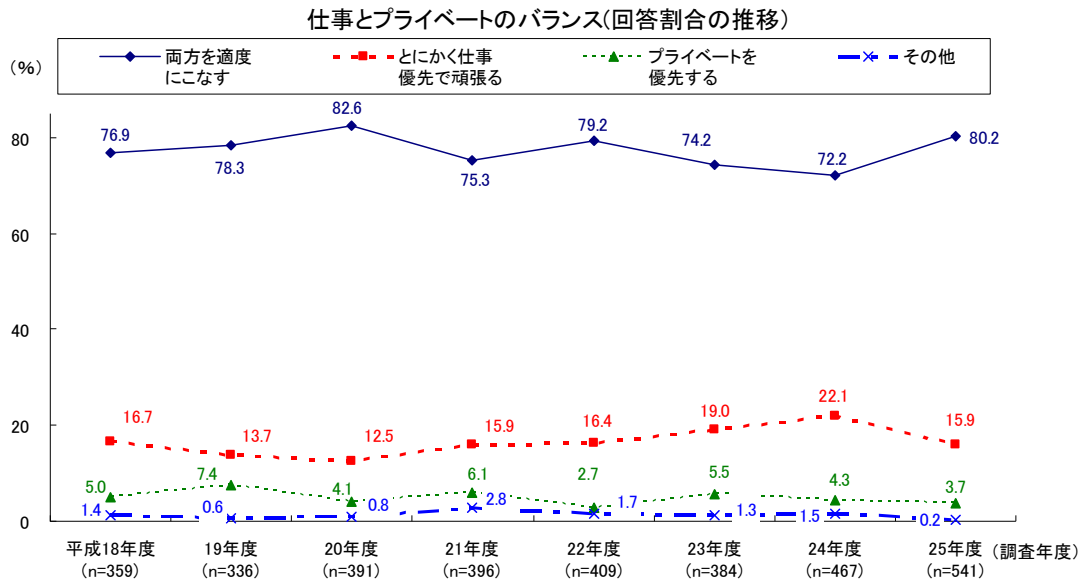
		とにかく仕事優先で頑張る	プライベートを優先する	両方を適度にこなす	その他
男女別全体 (n=535)		16.1	3.6	80.2	0.2
男女別	男性 (n=311)	19.6	3.5	76.5	0.3
	女性 (n=224)	11.2	3.6	85.3	0.0

学歴別でみると、すべての学歴で「両方を適度にこなす」の回答割合が最も高い。

【「仕事とプライベートのバランス」 学歴別回答割合】 (%)

		とにかく仕事優先で頑張る	プライベートを優先する	両方を適度にこなす	その他
学歴別全体 (n=536)		15.9	3.7	80.2	0.2
学歴別	高校卒 (n=214)	15.4	3.7	80.4	0.5
	短大卒 (n=34)	11.8	2.9	85.3	0.0
	専門学校 (高専含む) 卒 (n=70)	12.9	1.4	85.7	0.0
	大学卒 (n=196)	17.3	4.1	78.6	0.0
	大学院卒 (n=16)	25.0	6.3	68.8	0.0

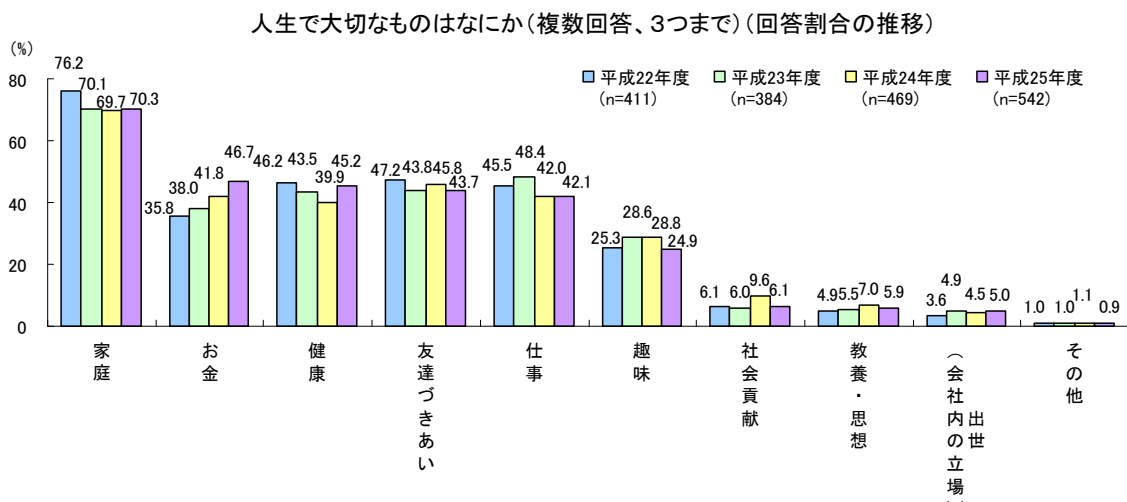
「両方を適度にこなす」の回答割合は3年ぶりに大きく上昇に転じた（前年比+8.0ポイント）。一方で、「とにかく仕事優先で頑張る」は低下に転じている（同△6.2ポイント）。



6. 人生で大切だと思うもの（複数回答、3つまで） ※平成22年度から調査開始した設問

“あなたにとって、人生で大切なものは何か”については、「家庭」との回答が70.3%と最も高く、次いで「お金（46.7%）」、「健康（45.2%）」「友達づきあい（43.7%）」「仕事（42.1%）」が続く。

24年度調査と比較して、「お金」（前年比+4.9ポイント）の回答割合が3年連続上昇し、4位から2位になり、「健康」（+5.3ポイント）は5位から3位になった。一方、「仕事（42.1%）」は2年連続で低下し、23年度は2位であったのが5位になった。



男女別にみると、男女ともに「家庭」の回答割合が最も高い。男性の方が「仕事（48.2%）」等の回答割合が高く、女性の方が「健康（54.7%）」等の回答割合が高くなっている。

【「人生で大切なもの」 男女別回答割合】 (%)

		家庭	仕事	出世(会社内の立場)	趣味	健康	お金	社会貢献
男女別全体(n=536)		70.1	42.0	4.7	25.0	45.0	47.0	6.0
男女別	男性(n=311)	65.6	48.2	7.1	28.6	37.9	46.6	6.1
	女性(n=225)	76.4	33.3	1.3	20.0	54.7	47.6	5.8
		友達づきあい	教養・思想	その他				
男女別全体(n=536)		44.0	6.0	0.9				
男女別	男性(n=311)	41.5	6.1	0.6				
	女性(n=225)	47.6	5.8	1.3				

学歴別では、すべてで「家庭」の回答割合が最も高い。

短大卒、大学院卒は、「健康」の回答割合が、他の学歴に比べて高くなっている。

専門学校（高専含む）卒は、「仕事（52.9%）」の回答割合が他の学歴に比べて高くなっている。

【「人生で大切なもの」 学歴別回答割合】 (%)

		家庭	仕事	出世(会社内の立場)	趣味	健康	お金	社会貢献
学歴別全体(n=537)		70.0	41.9	5.0	25.1	45.1	46.9	6.1
学歴別	高校卒(n=216)	69.4	43.1	3.2	26.4	41.7	50.9	5.1
	短大卒(n=34)	76.5	32.4	5.9	20.6	58.8	47.1	5.9
	専門学校(高専含む)卒(n=70)	67.1	52.9	5.7	21.4	44.3	38.6	1.4
	大学卒(n=195)	70.3	39.0	6.7	26.7	44.6	47.2	8.7
	大学院卒(n=16)	68.8	31.3	6.3	18.8	62.5	31.3	12.5
		友達づきあい	教養・思想	その他				
学歴別全体(n=537)		43.6	6.0	0.9				
学歴別	高校卒(n=216)	46.8	2.8	0.9				
	短大卒(n=34)	41.2	0.0	0.0				
	専門学校(高専含む)卒(n=70)	47.1	5.7	0.0				
	大学卒(n=195)	39.5	8.7	1.5				
	大学院卒(n=16)	43.8	25.0	0.0				

◆就職活動における男女による視点の違いに関する調査

7. 就職活動の会社訪問時等で気にしたこと

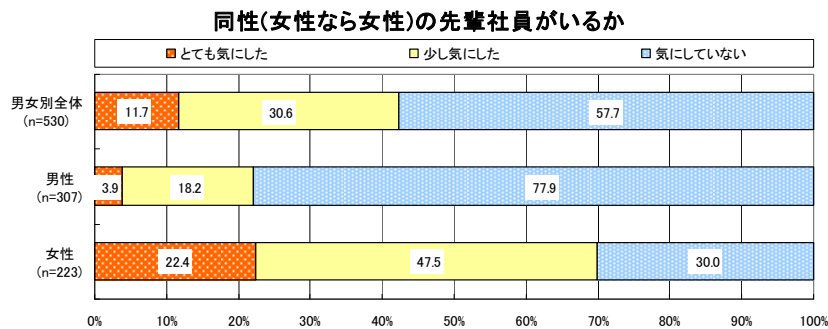
※今年度の調査で新しく設定した設問

世間では、優秀な人材を確保するために、“女性が働きやすい職場づくり”に取り組む企業や、女性採用を積極的に取り組む企業も多い。

そこで、就職活動の会社訪問等で会社をチェックする際に、男女間でどのような違いがあるかを把握した。

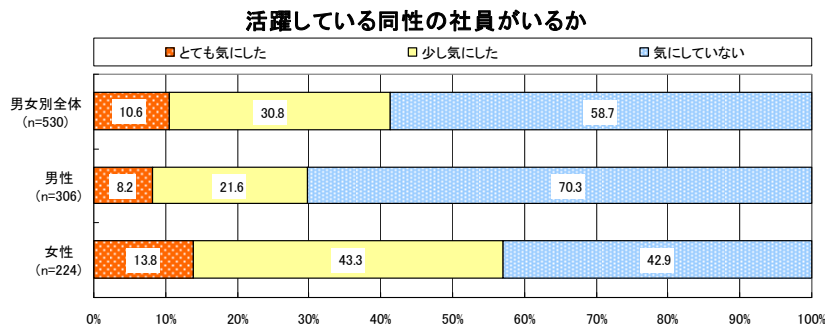
7-1. 同性の先輩社員の有無

“同性（女性なら女性）の先輩社員がいるか”については、女性は、“気にした”（「とても気にした+「少し気にした」）との回答割合は約7割（69.9%）で、男性の22.1%より大幅に高い。



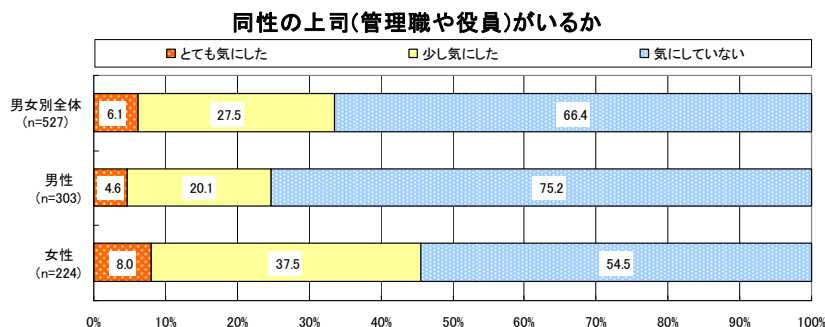
7-2. 活躍している同性の社員の有無

“活躍している同性の社員がいるか”については、女性は、“気にした”（「とても気にした+「少し気にした」）との回答割合は約6割（57.1%）で、男性の29.8%より大幅に高い。



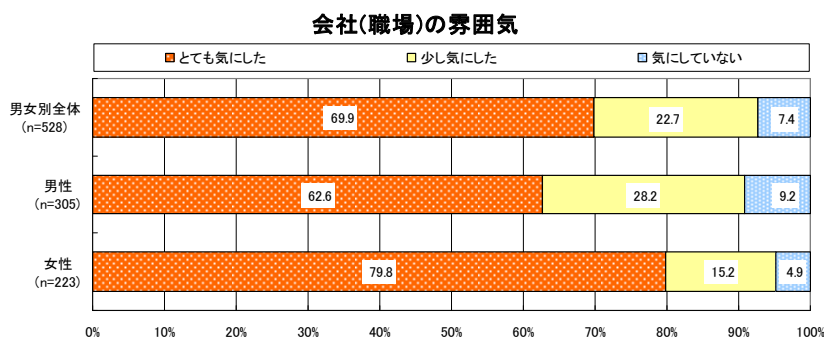
7-3. 同性の上司の有無

“同性の上司（管理職や役員）がいるか”については、女性は、“気にした”（「とても気にした+「少し気にした」）との回答割合は5割弱（45.5%）で、男性の24.7%より高い。



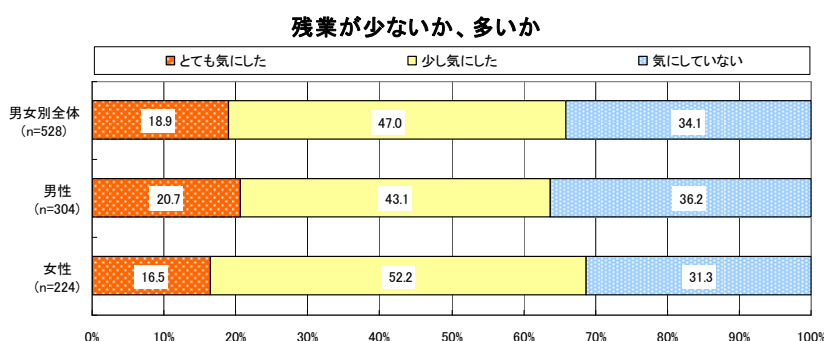
7-4. 会社（職場）の雰囲気

“会社（職場）の雰囲気”については、女性は、“気にした”（「とても気にした+「少し気にした」）との回答割合は9割超（95.0%）で、男性の90.8%よりやや高い。



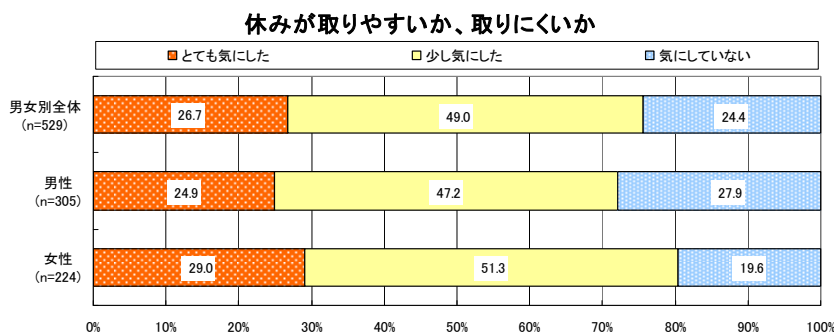
7-5. 残業時間の量

“残業が少ないか、多いか”については、女性は、“気にした”（「とても気にした+「少し気にした」）との回答割合は約7割（68.7%）で、男性の63.8%と大きな差はみられない。



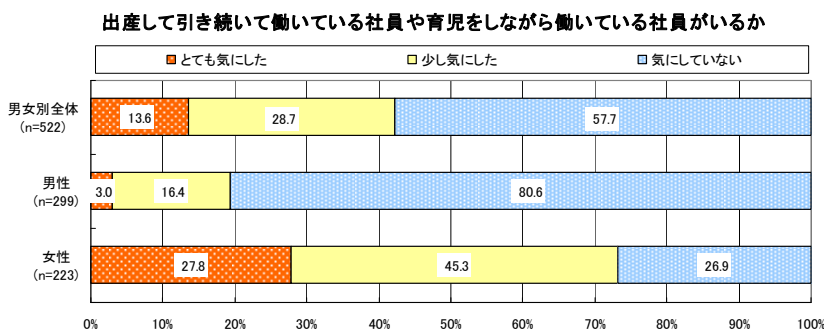
7-6. 休みの取りやすさ

“休みが取りやすいか、取りにくい”については、女性は、“気にした”（「とても気にした+「少し気にした」）との回答割合は約8割（80.3%）で、男性の72.1%よりやや高い。



7-7. 出産して働き続ける社員の有無

“出産して引き続いて働いている社員や育児をしながら働いている社員がいるか”については、“気にした”（「とても気にした+「少し気にした」）との回答割合は約7割（73.1%）で、男性の19.4%より大幅に高い。



◆家庭の夫婦間の役割分担に対する意識に関する調査

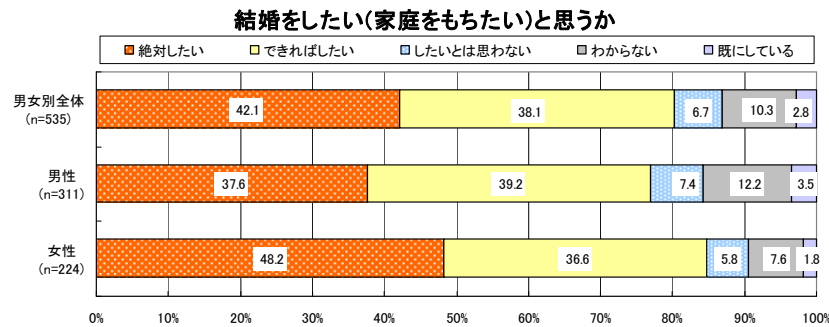
8. 夫婦間の役割に対する考え

※今年度の調査で新しく設定した設問

女性が社会に進出するためには、家庭での夫婦間の役割分担が重要になってくる。そこで、新社会人の家庭の夫婦間の役割に対する意識を把握した。

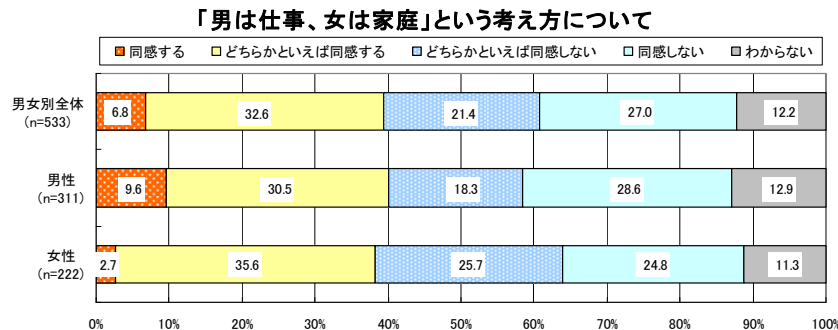
8-1. 結婚に対する意識

“結婚をしたい（家族をもちたい）と思うか”については、男性は、“したい”（「絶対したい」＋「できればしたい」）との回答割合は76.8%、女性は84.8%で、女性の方がやや高い。



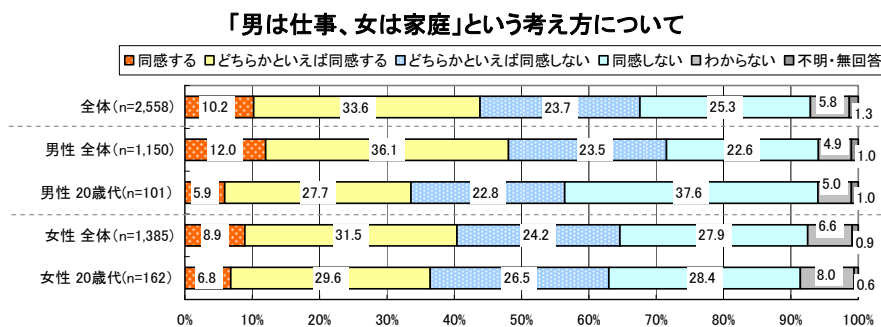
8-2. 「男は仕事、女は家庭」という考え方についての意見

“男は仕事、女は家庭”という考え方”については、男女ともに、“同感しない”（「同感しない」＋「どちらかというと同感しない」）の回答割合が、“同感する”（「同感する」＋「どちらかというと同感する」）よりも若干であるが高い。



【ご参考】 三重県の県民意識調査結果（※抜粋 全体および20歳代）

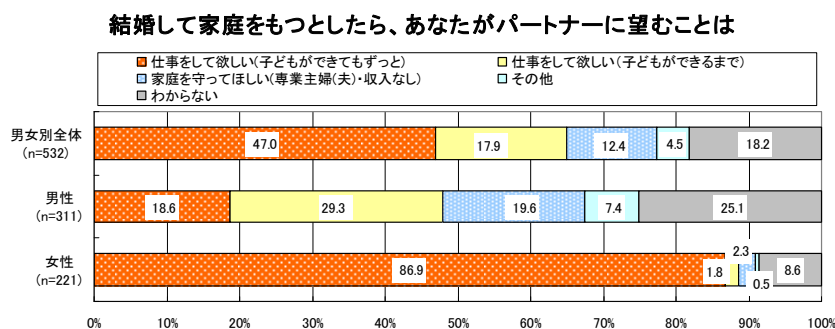
三重県が平成21年9月に実施した「男女共同参画に関する県民意識と生活基礎調査報告書」での同じ設問の回答結果は、以下の通り。このデータの20歳代と比較すると、男女ともに、上の結果の方が、男女ともに“同感しない”の回答割合が、低くなっている。



8-3. パートナーに望むこと

“結婚して家庭をもつとしたら、あなたがパートナー（男性は女性、女性は男性）に望むことは”については、男性は、「仕事をして欲しい（子どもができるまで）（29.3%）」の回答割合が最も高く、次いで「わからない（25.1%）」「家庭を守って欲しい（19.6%）」、「仕事をして欲しい（子どもができてずっと）（18.6%）」が続き、何らかの形で仕事をして欲しいとの回答は約5割（47.9%）となった。「その他」の記入内容は、「相手の意向に任せる」「その時々によって変わる」といった記載が多くを占めた。

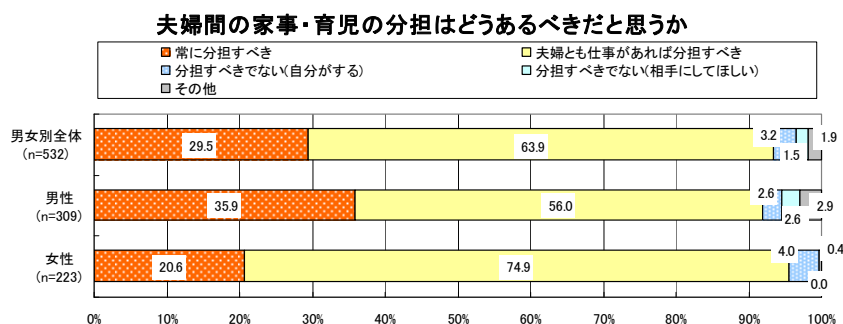
女性は、「仕事をして欲しい（子どもができてずっと）（86.9%）」が約9割を占めた。



8-4. 夫婦間の家事・育児の分担に対する意識

“夫婦間の家事・育児の分担はどうあるべきだと思うか”については、男女ともに、「夫婦ともに仕事があれば分担すべき」の回答割合が最も高い。

男性の方が、「常に分担すべき（35.9%）」の回答割合が高い。



本調査に関するお問い合わせは、下記までお気軽にお寄せください。

株式会社 百五経済研究所

担当：川北、森里

三重県津市丸之内 9-18 津丸の内ビル

TEL 059-228-9105

FAX 059-228-9380

URL <http://www.hri105.co.jp/>